

令和8年6月22日

下諏訪町長 宮坂 徹 様

下諏訪駅周辺活性化検討会

JR 下諏訪駅及び周辺整備にかかる提案について

当検討会では、JR 下諏訪駅及び駅前通りを含む駅周辺の現状や課題を把握したうえで、より多くの方が利用する駅の実現に向けて、慎重に検討を進めてまいりました。

この度、JR 下諏訪駅の整備にかかる検討結果について、下記のとおり提案いたします。

記

- ・ 駅舎については、別紙の内容に基づいて、「利用者の『ちょっと』を満たす居場所」となるよう整備すること。なお、整備にあたっては以下のことを考慮したうえで、実施すること。
 - 1 町の玄関口として、駅の魅力を高め、駅周辺の活性化につなげること。
 - 2 駅を通勤・通学で利用する方が全体の8割程度であることを考慮し、駅利用者の乗車前5分もしくは降車後5分程度で完結する総合的なサービスを提供できる機能を具備すること。
 - 3 駅利用者が毎日使う仕掛け・機能を充実させるような整備とすること。
 - 4 駅を起終点として、まちなかを回遊することを促す機能を具備すること。
 - 5 駅利用者が駅に滞在できる空間・機能を具備すること。
 - 6 令和10年度に開催される御柱祭に間に合うように考慮すること。
- ・ 整備後の利用状況等を鑑みて、今回の整備の対象としない駅舎及び周辺を整備すること。

〈別紙〉



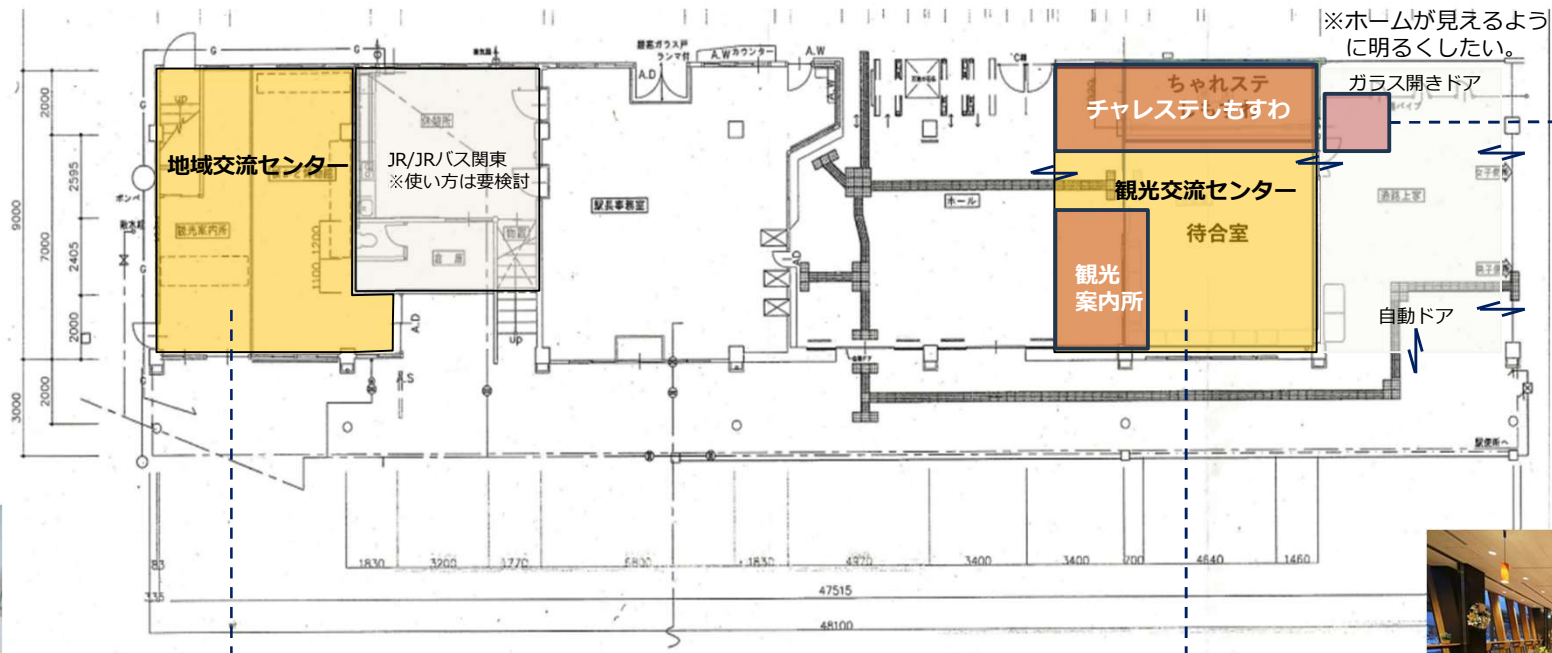
下諏訪駅周辺活性化検討会 配布資料の一部

下諏訪駅舎の具体的な活用案

具体的な活用案ポイント

- (1) 駅の建物はできるだけ有効活用する。
- (2) 観光客や住民、高校生の利活用を推進する。
- (3) 障がい者などへの配慮も行う。
- (4) まずは1階を整備し、2階の活用を検討する。

1階



参考：JR甲府駅
コワーキングブース



参考：JR玉名駅
(熊本県玉名市)

1階 東側
地域交流センター (仮)
約60㎡ (55.8㎡+3.66㎡=59.46㎡)

1階 西側
観光情報センター(観光案内所)
約85㎡ (84.6㎡+α)



参考：JR飯山駅